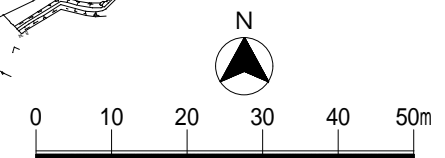


- 復元展示施設
- 立体表示施設
- 半立体表示施設
- 平面表示施設

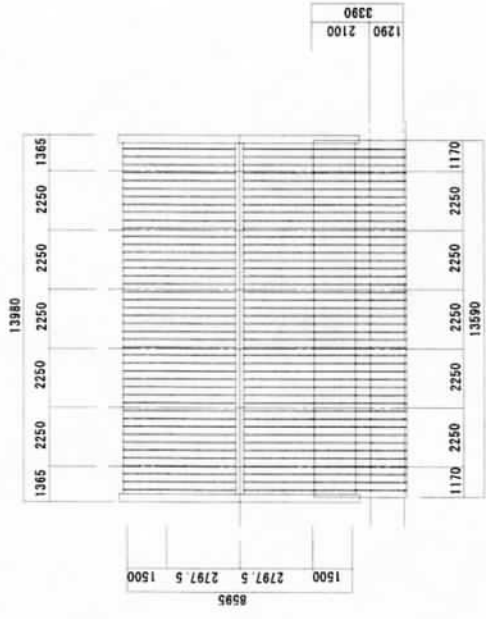
   史跡指定範囲



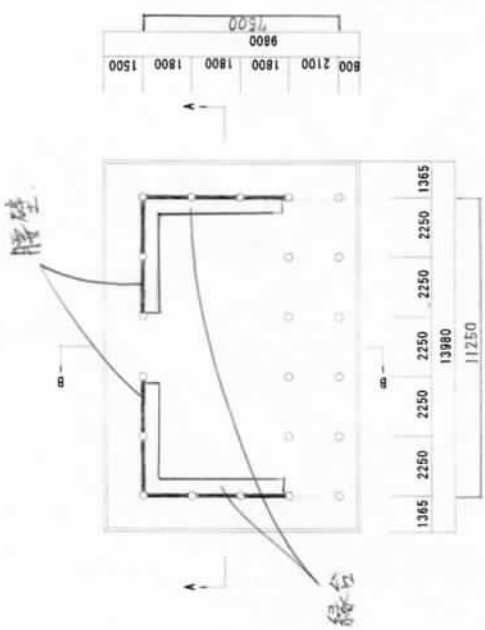
業務名	史跡久留倍官街遺跡保存整備基本設計業務委託		
図面名	基本設計平面図		
年月日	平成24年3月31日		
尺度	S=1/500	図面番号	1
会社名	株式会社 空間文化開発機構		
	四日市市		



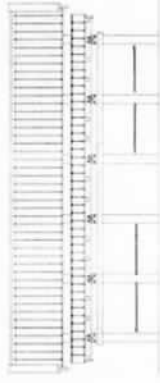
正殿跡立体表示



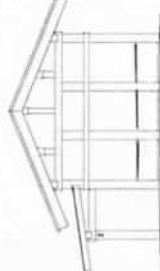
屋根伏せ図 S=1/200



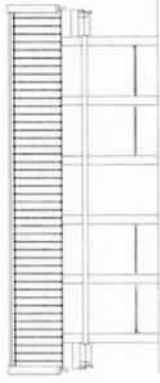
平面図 S=1/200



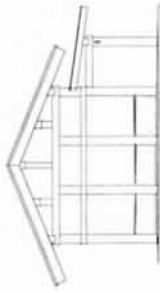
東立面図 S=1/200



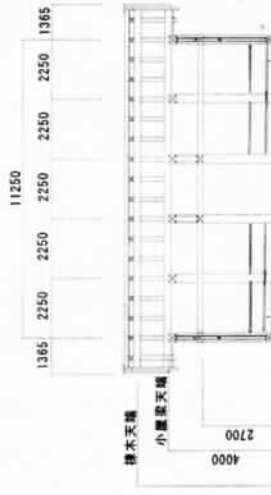
北立面図 S=1/200



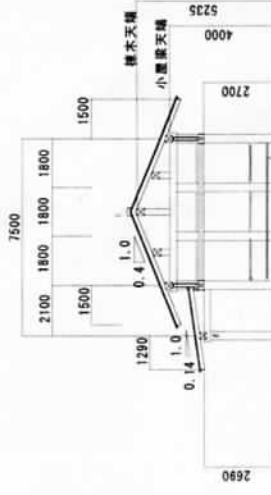
西立面図 S=1/200



南立面図 S=1/200



A-A 断面図 S=1/200



B-B 断面図 S=1/200

○遺構立体表示施設



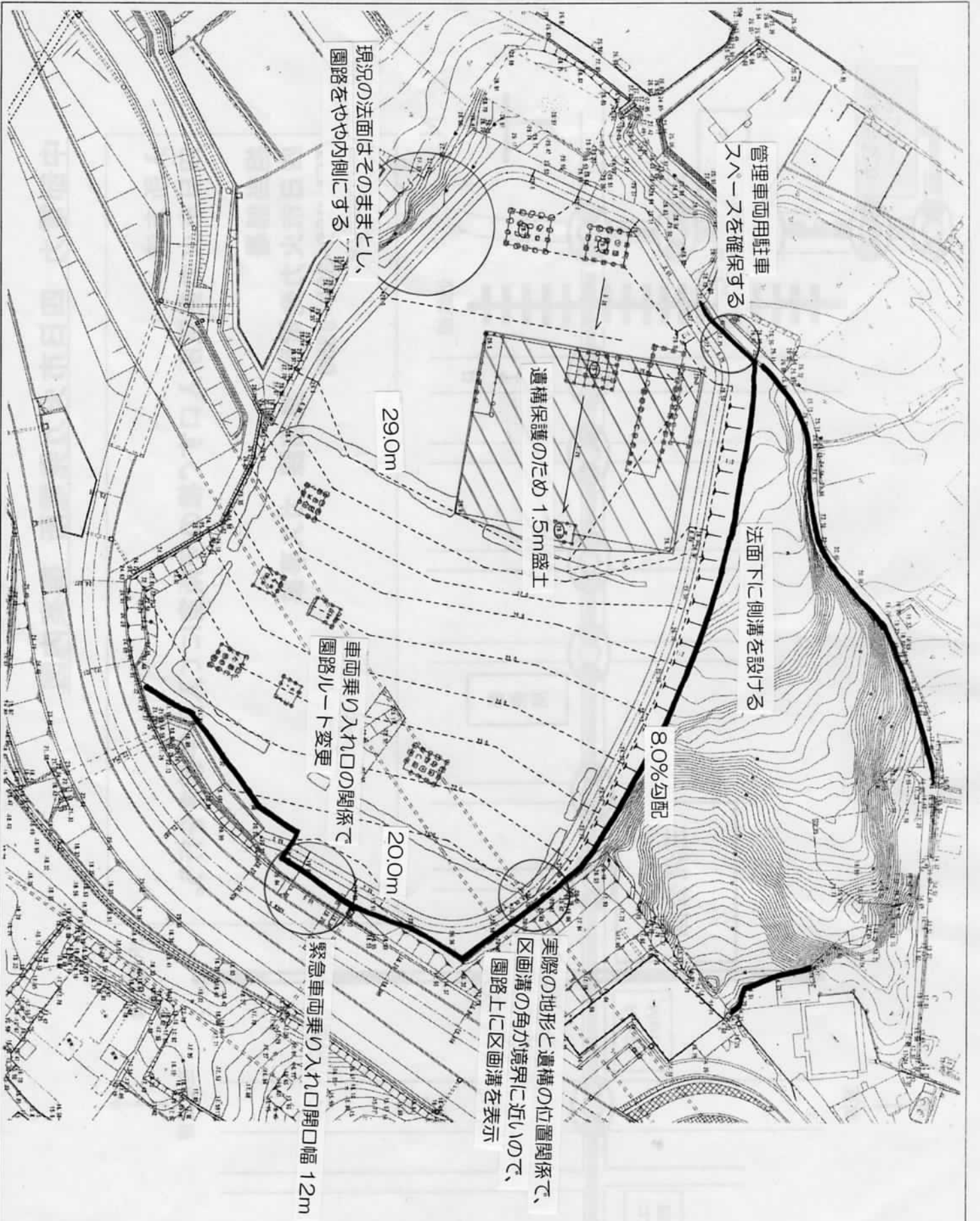
法堂寺虎寺跡 (掘立柱建物)



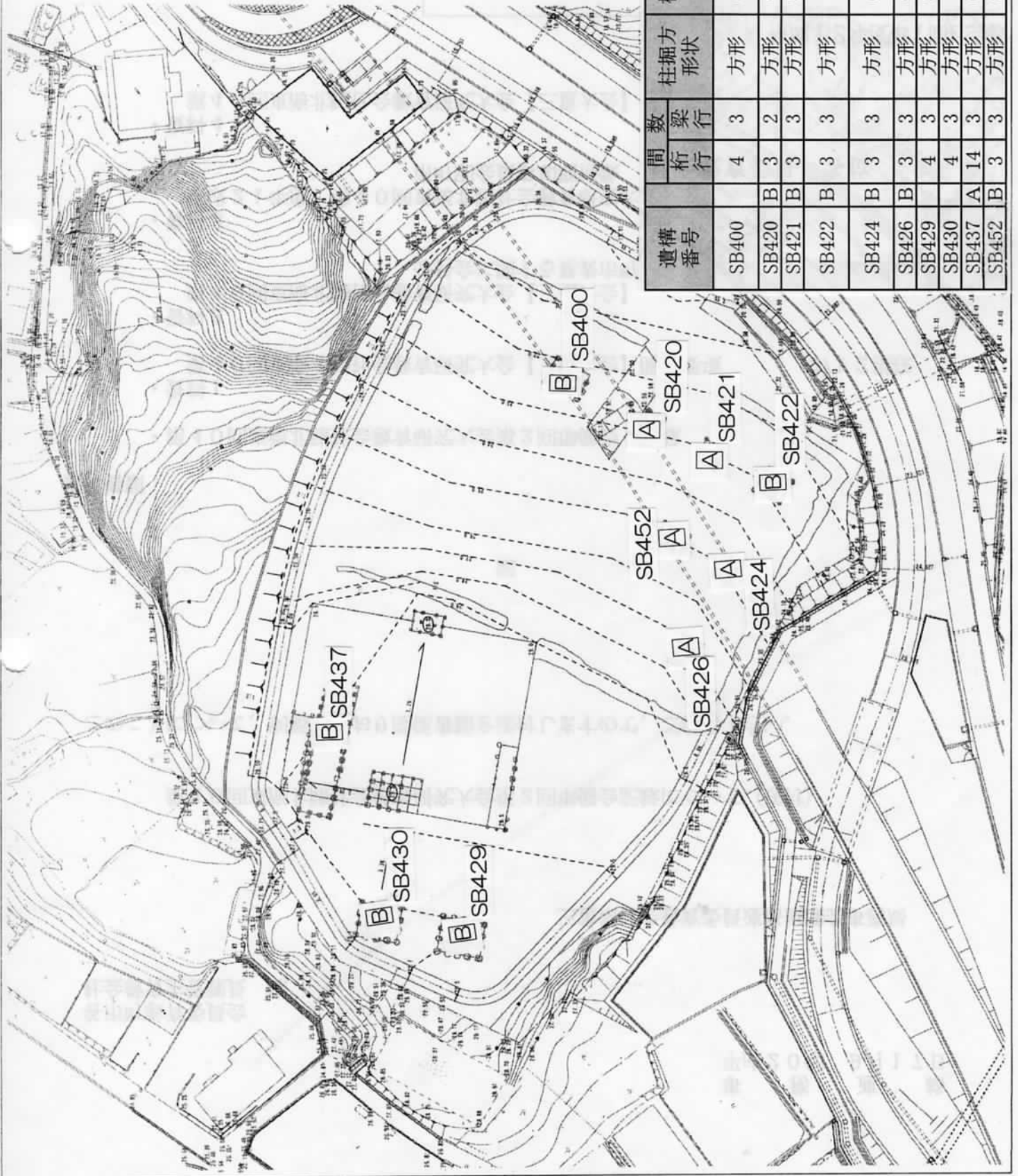
志太郎面跡 (掘立柱建物)



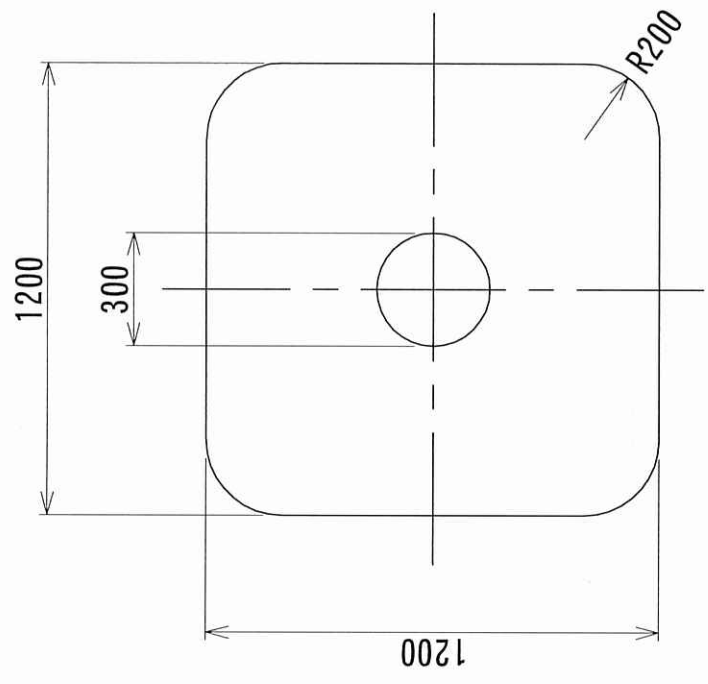
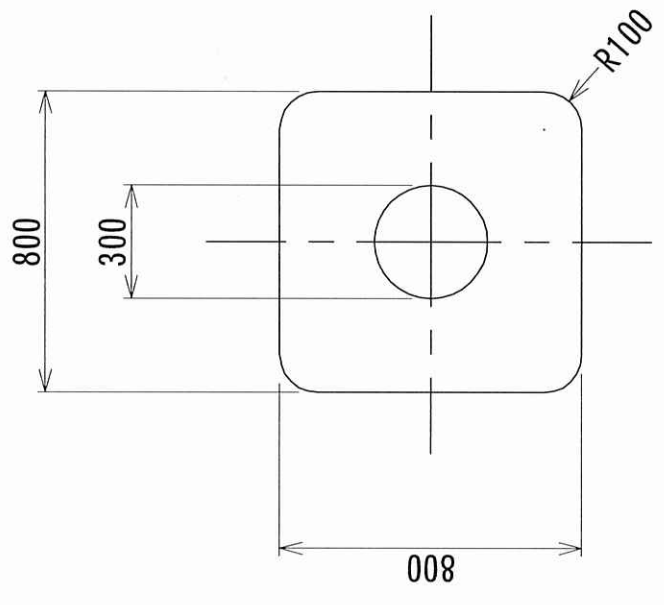




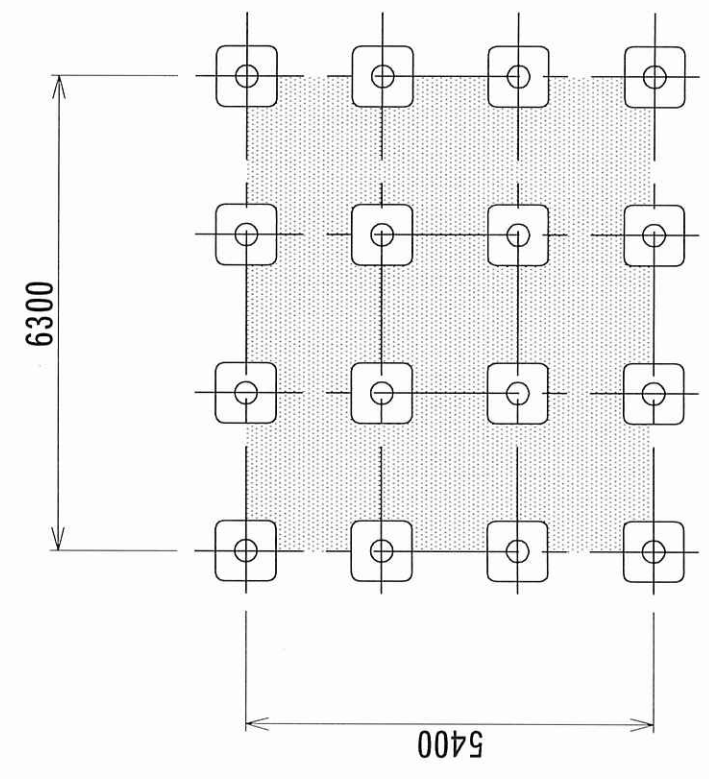
工 業 名	北都久保の管理用遺構保存整備工事
竣工期	平成26年6月30日現在
図面内容	建設図
縮 尺	A1 1:200
縮尺単位	縮尺単位
縮尺単位	縮尺単位



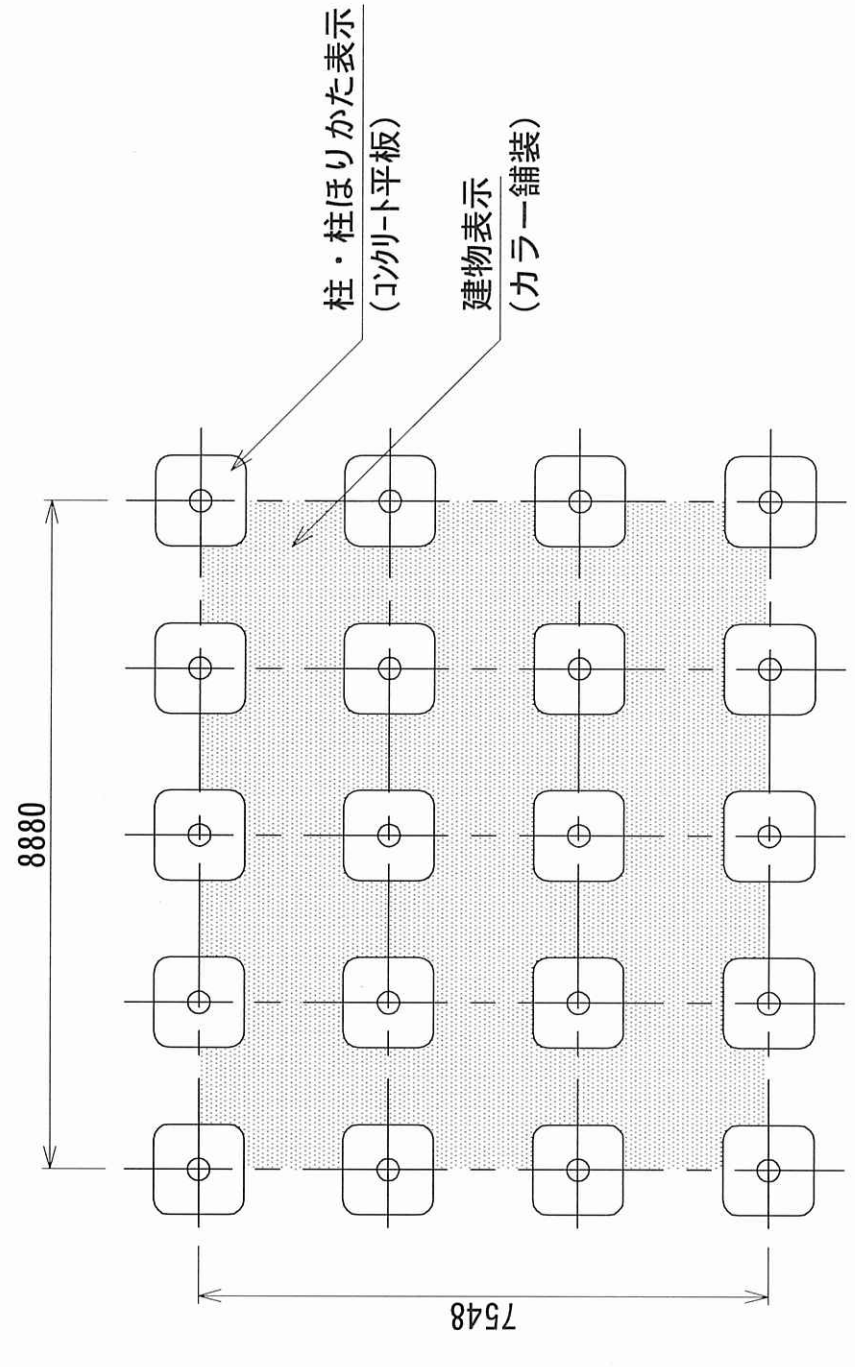
遺構 番号	間数		住掘方 形状	住掘方規 模(m)	柱痕(m)	備考
	桁 行	梁 行				
SB400	4	3	方形	0.8~1.3	0.3~0.5	
SB420	B	2	方形	0.7~0.9	0.30	柱痕はC期
SB421	B	3	方形	0.6~0.8	0.3~0.4	柱痕はC期
SB422	B	3	方形	1.0	0.3~0.4	
SB424	B	3	方形	0.7~0.9	0.3~0.4	
SB426	B	3	方形	0.6~0.7	0.3	
SB429		4	方形	0.9~1.2	—	
SB430		4	方形	1.2~1.4	—	
SB437	A	14	方形	0.8~1.2	0.2~0.3	柱痕はB期
SB452	B	3	方形	0.7~1.4	0.3	



平面図 1:20



SB422B  
平面図 1:100

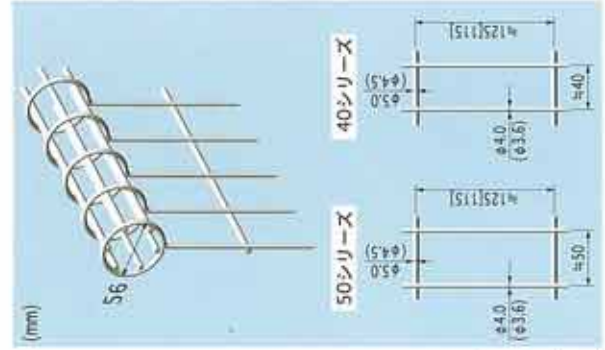


SB430  
平面図 1:100



### オリジナルのパネル胴縁一体構造

今までのフェンスの概念を全く新しいものにした、朝日オリジナルのパネル胴縁一体構造。従来の胴縁材をメッシュにしてパネルと一体化してあるため、網だれがなく強靱、視界をさまたげない開放性、台風などの風や地震などの揺れに対しての優れた耐久性、そして何より見た目のスマートさなど、数々のメリットを生み出しました。



※(1)は芯径および溶融亜鉛めっき製品。[(1)はA8000・9000および18000の下段寸法を示す。]  
※チニースコートに使用の場合はボールが抜けにくい40シリーズをご使用ください。  
[50シリーズではボールが抜け、思わぬ障害が発生する場合があります]

### 下地に「高耐食性溶融めっき鋼板」ZAMを使用

(NETIS登録No.KT-010029-V)

「さびないフェンス」を目標に、素材そのものに強力な防錆力を持たせているため優れた耐候性を誇ります。

#### 材質・塗装

部材名	材質		下地処理・塗装		溶融亜鉛めっき品 A型(A600~A4000)
	めっき+樹脂コート品 A型・R型	GR型	めっき+樹脂コート品 A型・R型	G R型	
主柱	STK400 (準据)		亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっき (付着量275g/m <sup>2</sup> 以上) [ZAM <sup>®</sup> ] (S5000・6000)は溶融亜鉛めっき+DZ40 アクリル系樹脂静電粉体塗装 [平均50μm以上]		溶融亜鉛めっき品 A型(A600~A4000)
パネル	ハイテンション線		3種亜鉛めっきSWMCH+3 PVC樹脂静電粉体塗装 [平均200μm以上] [コート2ヶ所]		
ジョイント	SZA400同等以上	SS400	亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっき [付着量275g/m <sup>2</sup> 以上] [ZAM <sup>®</sup> ]		
押え金具	SZA400同等以上	SF4C	アクリル系樹脂静電粉体塗装		
バンド	合金めっき鉄線 SF4C	SWM4B	アクリル系樹脂静電粉体塗装 溶融亜鉛めっき+DZ35		
U型金具	SZA400同等以上	SPCC	亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっき [付着量275g/m <sup>2</sup> 以上] [ZAM <sup>®</sup> ] 防錆着色処理		溶融亜鉛めっき +DZ35
ポルト・ナット	ポルト4.8・ナット5		溶融亜鉛めっき+DZ35+防錆着色処理		

※1 [ZAM]は、日新製鋼株式会社の登録商標です。  
※2 [ZAM]は、日新製鋼株式会社が開発した溶融亜鉛Zn-Al-Mg合金めっき鋼板の商品名です。

### 組立が簡単

パネル胴縁が一体なうえに、複雑な部品を極力おさええたシンプルな構造なので、組立、施工が簡単です。(巻末(施工要領)参照)

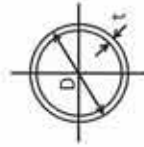
定番であり続けるための高品質がここにあります。

### 強度試験 (弊社テストによる)

JSA6518 (ネットフェンス構成部材) JSA6513 (金属製格子フェンス及び門扉) の鉛直・水平荷重試験をゆうゆうバス、パネルは鉛直荷重1470N (150kgf)、水平荷重1470N (150kgf)、支柱は水平荷重490N (50kgf) [H1500mmを超えるものは588N (60kgf)] で、緩み・外れを認めず。

### 柱断面性能

外径	厚さ	断面積	単位質量	断面二次モーメント	断面二次モーメント係数
Dmm	tmm	cm <sup>2</sup>	kg/m	I cm <sup>4</sup>	Zcm <sup>3</sup>
50.8	1.6	2.473	1.94	7.49	1.74
50.8	2.3	3.504	2.75	10.3	1.72
60.5	2.3	4.205	3.30	17.8	2.06
60.5	3.2	5.760	4.52	23.7	2.03



### カラー

お好みで、周囲のイメージに合わせて、より良い空間創りに最適なカラーをお選びください。

#### ■標準色

※下図はA型のイメージです。※GR型の標準色はダークブラウン・ローングリーンです。

■溶融亜鉛めっき品  
A型(A600~A4000)

めっき

WH ホワイト

GS グレー

KB グレーベージュ

DB ダークブラウン

MB マイルドブラウン

JB ジェンブラウン

LG ローングリーン

RG ライトグリーン

■受注生産色

BL ブルー

UN-A1200 (溶融亜鉛めっき品)

※表示の色は印刷のため、実際の塗装色・外装色とは若干異なる場合があります。



## 施工例紹介

人に、都市に、緑に、交通に。

あらゆるニーズに、朝日の誇る高品質で応えます。



病院外構 UN-A1500



教育施設外構 UN-A1200



駐車場外構 UN-A1200 (勾配)



公園内柵 UN-R1000M



グラウンド外構 UN-GR2000-50



駅構内 UN-R1200



総合公園外構 UN-S5000



テニスコート UN-A3000-40



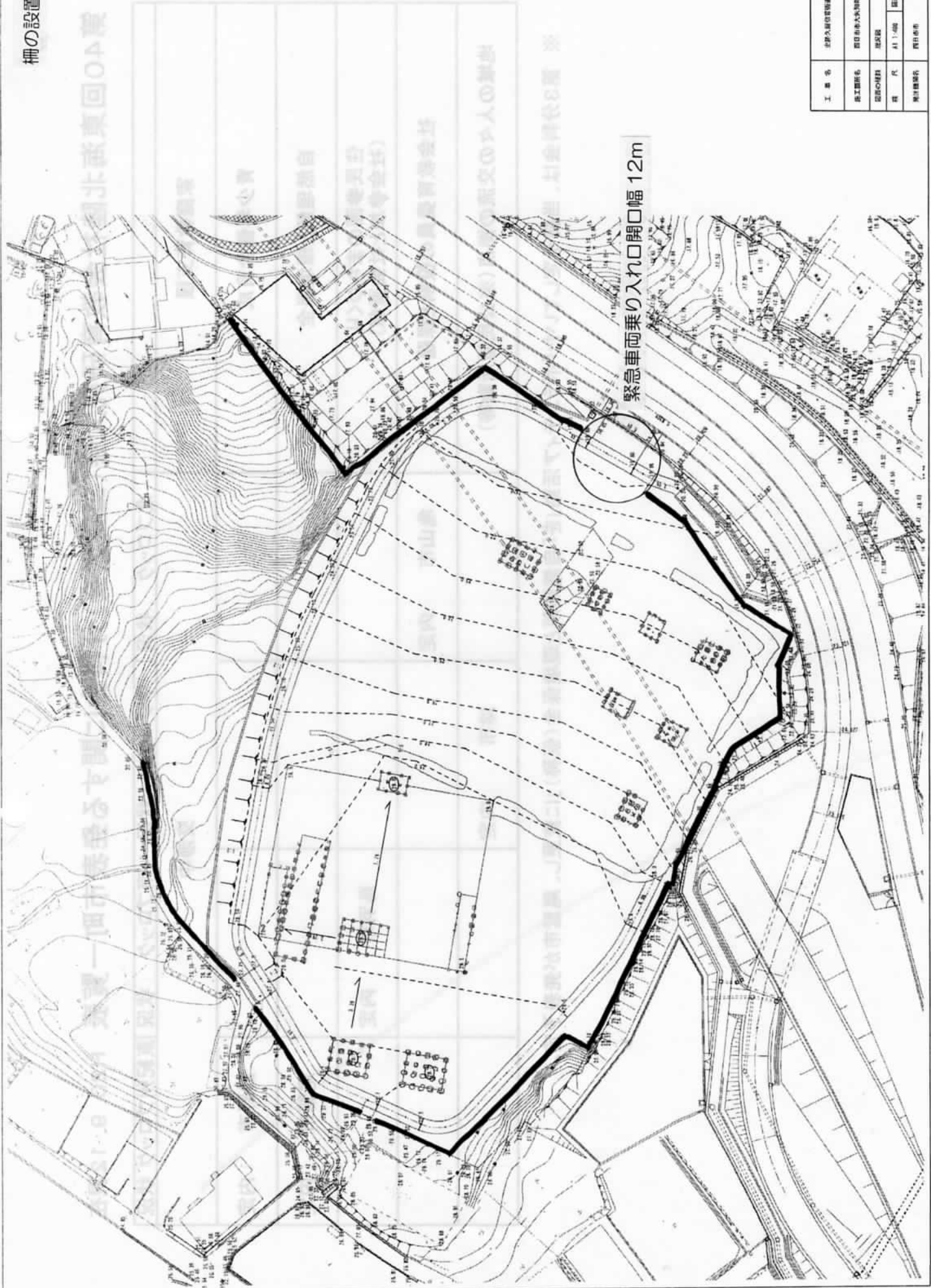
野球場スタンド UN-GR1200+ジャッジライン (オプション)



グラウンド UNバックネット H8300+1000 (特殊設計品)



柵の設置範囲



緊急車両乗り入れ口開口幅 12m

工 業 名	北野公園地区防災対策工事
施工箇所	四日市市八木町地区内
図面の種別	建設図
種 別	A1 1/400
発行年月	四日市市

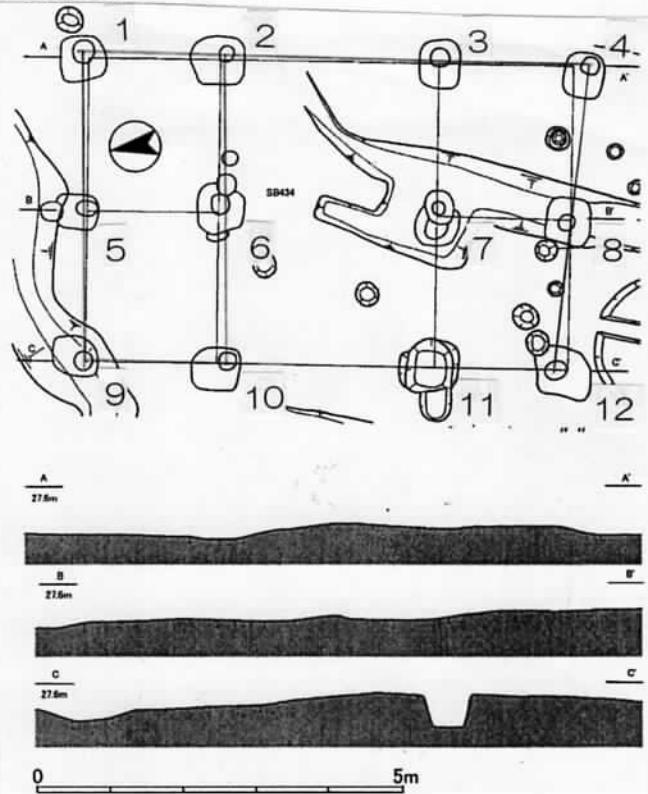


## 久留倍官衙遺跡 SB434（政庁門）復元の検討

## 遺構の特徴

- ・ 検出された柱位置では、柱筋のとおりはあまり良くない。ただし、この状況は正殿にもみられる状況である。
- ・ 遺構には掘りかたと柱痕がみられる。柱を抜き取った痕跡はない。
- ・ 柱掘りかたには切り合い関係がみられないので、建て替えはなかったと考えられる。
- ・ 柱掘りかたの形状は隅丸方形・不整形で規模は以下のとおり。
- ・ 柱痕はほぼ円形で規模は以下のとおり。

	柱掘りかた規模		柱痕規模
	東西	南北	
1	0.62	× 0.62	0.33×0.3
2	0.68	× 0.76	0.23
3	0.68	× 0.55	0.25
4	0.63	× 0.54	0.24
5	0.49	× 0.6	0.24×0.28
6	0.69	× 0.66	0.28×0.24
7	0.6	× 0.6	0.29
8	0.69	× 0.62	0.22
9	0.55	× 0.61	0.25
10	0.6	× 0.68	0.24
11			
12	0.67	× 0.77	0.25×0.3



- ・ 建物規模・形式は以下のとおり。

	桁行	梁行
間数	3間	2間
総長	22尺（1尺=29.6cm） 6.512m	14尺（1尺=29.6cm） 4.144
柱間寸法	6+10+6尺 1.776+2.96+1.776	7尺 2.072

- ・ 桁行の中央間が広がっている。
- ・ 柱痕に乘せるように柱筋を引くと、東側が長く西側が短い台形の形状を呈する。
- ・ 柱痕に乘せるように柱筋を引くと、政庁の内側より外側の梁行柱間の方が広い。



### 地方官衙の八脚門の中の久留倍官衙遺跡政庁門の位置づけ

- ・礎石建のものは掘立柱のものより規模が大きい傾向がある。
- ・八脚門は、東北の城柵に多く見られる。国府もこの形式の門が多い。郡衙は、政庁の類型が様々であり一様にはいえないが、八脚門あるいは四脚門である場合が多い。
- ・官衙の八脚門は桁行9m台のものが比較的多い。SB434は、現在検出されている7~10世紀の官衙の八脚門の中では小規模の部類である。
- ・国庁と郡庁では、国庁の規模が大きい傾向があるが、同一国内で比較できる事例が少ないので明確ではない（伊勢国府は想定39×24尺、11.7×7.2m）。

### 郡衙の門とSB434の特徴

- ・『儀制令』凶服不入状の注釈にある「公門」である。宮城門及び諸司曹司院、国郡庁院も門は、汚してはならない特別な「公門」であり、公的な場として重要視されていた。（山下信一郎「文献から見た古代官衙の門の機能」『第13回 古代官衙・集落研究会報告書 官衙と門』2010、奈良文化財研究所編）
- ・八脚門は律令国家を象徴する門である。（坂井秀弥「地方官衙と門」『第13回 古代官衙・集落研究会』報告書 官衙と門』2010、奈良文化財研究所編）
- ・東向きである。

